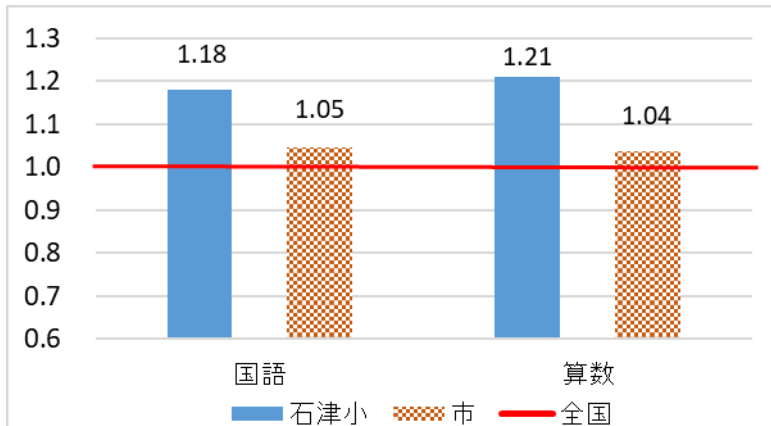


## 令和3年度 全国学力・学習状況調査について

友呂岐中学校区 石津小学校

第6学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

### 【国語】

学習指導要領に示されている3領域「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のすべてが全国平均を13ポイント以上上回った。しかし、その中で、課題のあったのが「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる」である。今後は、文を要約する活動を意識的に取り入れ、目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に文量等にも着目して説明する力を育成する。

### 【算数】

学習指導要領に示されている算数における「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」といった5領域の総平均は全国平均より14ポイント近く上回った。しかし、その中で、課題があったのが「帯グラフで表された複数のデータを比較し示された特徴をもった項目とその割合を記述できる」である。今後は、集めたデータを分析する際、データの種類や項目の数を考え、目的に応じて既習事項である簡単な表、二次元の表、棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフといった表現から適切なものを選択して表し、そこからデータの特徴や傾向を捉え、結論について判断することのできる力を算数だけでなくディベート教育でも養う。

### 【質問紙調査】

コロナ禍の中で、自宅で過ごすことが多かったため、ゲーム等に費やす時間の増加が見られた。そのため基本的な生活習慣、特に就寝や起床時間に課題がみられた。しかし、学習については、意欲的に取り組もうと考えており、さらには取り組んでいる道徳教育の結果として、他者に対しての思いやりの気持を持つという意識も高い。今後は、自ら主体的に考え、行動していくという意識を醸成するために児童が自己の課題の解決及び将来の生き方を描いていけるよう自主的・実践的に取り組む活動を行う。

○学力向上の取組

### 【中学校区】

校区学力向上部会にて調査内容の分析を行い、成果と課題を明確化し、3校教職員全員で共有した。今後は、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にしてまとめていく力や、場面の状況を捉え、得られた結果から判断する力を、教科を横断しながら育成することを継続していく。さらには3校で協働して委員会活動に取り組み、児童・生徒のキャリア育成を図っていく。

### 【学校】

校区全体の課題、自校の課題を明確化した。その上で、学習指導要領による学力3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の評価観点に応じた授業改善を継続実施している。